

*2020年度に対して評価をお願いします

	評価項目	取り組み目標	2020年度自己評価		関係者評価	評価委員の意見等	
			具体的な取り組みと改善点等	評価			
1	学校運営管理者	学校は、管理者が教育目標の達成に向けた学校運営をしている	建学の精神に基づいた豊かな人間性と強固な基礎学力を持ち自ら学ぶ生徒を育成するため、中長期計画 2021-2025を策定し、その教育目標に沿った教育を実践する	教員から広く意見を吸い上げ策定したEIWA VISION 2020-2024を元に法人全体としての中長期計画2021-2025を策定した。自主性、主体性を持って学習・生活に取り組むことのできる生徒の育成を目標に、カリキュラムの改訂、コース制の検討、SDGsの視点から総合的な探求の時間のプログラム検討を行った。生徒、教職員の安全安心を最優先し感染予防対策に最大限の取り組みをした。	5.0	5.0 計画的にプランを考えており、良い取り組みだと思う。	
		学校は、保護者の意見や要望を教育活動に取り入れる努力をしている	アンケート調査を実施し、保護者面接、PTA役員会や懇談会など、直接またはオンライン等で対話する機会を増やす	アンケートや生徒や保護者からの意見等の情報を基に、学年会や教育相談、スクールカウンセラーと連携し検討結果を迅速に教育に反映した。緊急を要する案件には、絆ネットやHPを用いて素早い対応を行った。	5.0		5.0 オンライン等を生かした点が良い。
		学校は、授業公開など保護者や地域の方に情報提供をしている	授業参観会、保護者懇談会、三者面談、部活動保護者会等を開催し情報共有に努めた。またHPや絆ネット、マチコミ等用途に合わせた複数の連絡ツールを設け、HPを頻りに更新し、玄関掲示板やイベントを通じて情報発信に努める。	新聞掲載、HPの活用、チラシ、TVコマーシャルによって情報発信を常時行ってきた。授業参観日や夏休みの保護者面接に加え、授業公開週間を設定した。	4.8		5.0 SNS、HP等活用している点が良い。
2	募集活動広報部	定員の確保に向け、時代の要請にあった教育を広報できている	従来より学校が有している美点に加えて、時代の求めに呼応する学校の魅力をオンライン等の方法を用いて効果的に広報する	学校説明会、オープンキャンパス等を通して、進学実績、ICT、英和学等、特色ある教育を丁寧に説明した。各種イベントにオンライン中継も加え時代の要請に応えた。Web出願制度を導入し事務手続きの効率化と出願手続きの利便性を高めた。入試制度を見直し、英語特待を改訂し資格特典を新設した。	4.8	5.0 できるだけ保護者が手続きしやすいような取り組みが良い。入試の際、小学校や保護者の負担がないような印象も必要かもしれません。	
		限りある予算の中でも本校のPRを十分に校外にアピールできている	HP、パンフレット、チラシ、メディア等を最大限に活用し小中学校・塾訪問を通し地道な広報活動を行う	各種データから割り出した重点校や重点地区に向けて、訪問回数を増やし担当者との信頼関係の構築に努めた。名簿登録者数を増やすために、イベント数や保護者向けプログラムを増やし、従来の受験紹介制度に加え、新たに友だち紹介制度を立ち上げた。	5.0		4.8 保護者へのアピールを特にカウンセリングやきめ細かい対応をアピールする点が良い。
3	宗教教育宗教部	「隣人愛」という建学の精神に基づいて、やさしく心豊かに生きる女性を育てている	礼拝や聖書の時間を中心に学院生活のあらゆる場面で、建学の精神について語りかけ問いかけ、自ら考え行動する機会を提供していく	グローバル化する社会にますます求められる、本校の建学の精神「隣人愛」を「愛と奉仕」のスクールモットーと共に、日々の教育活動の中で体現していけるように努力を継続する。	4.5	5.0 コロナの感染状況をみながら、安全に留意しつつ、ぜひ讃美歌を歌わせてあげてほしい。	
		心の成長を醸成する宗教行事が充実している	礼拝や宗教行事の内容の充実継続を図り、心の教育を推進する	行事の精選を図りつつ心の教育を推進した。大切なものは残しつつ引き続き行事の整理を行った。	4.3		4.5 建学の精神に基づいた訪問やボランティア活動によって心の教育が自然となされている。コロナ禍で花の日、収穫感謝等の行事が縮小されて残念だった。
4	学習指導教務部各教科	学校は、体系的な学習システムを構築し、学力向上をはかっている	新指導要領の移行に伴い、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を進める学びを実現するために、カリキュラムを改訂し、コース制を検討する。シラバスを見直し、学習年間計画、指導法、観点別評価法を全教科で確認する	コロナ禍で獲得したオンライン技術を深化させ授業や礼拝で活用した。英検対策講座の充実、英検や文章検定の奨励等、基礎基本から発展学習まで個別最適化教育に向けて特徴ある学力向上のための取り組みを行った。	5.0	5.0 単元テストの導入等スモールステップでミニ目標を掲げて、個人的評価をすることは良いこと、大切にしたい。	
		学校は、学習内容や基礎・基本の定着徹底を図っている	授業を中心とした家庭学習を明確化し、小テストや単元確認テストや各種検定対策講等サポート体制を整え、成果の可視化を図る	オンラインによる小テストや授業アンケートを実施し、生徒の主体性を重視した放課後の補習を実施した。基礎学力の定着方法を模索し、観点別評価法の研修を継続した。	4.5		5.0 情報系の進路アップのため、情報教育や資格取得の情報も取り入れてほしい。
		本校の教員は、主体的かつ協働的で、知識と技能の向上を図り、理解力・判断力・表現力を養う授業を行っている	ICTを活用し、知識・技能を習得し、思考力、表現力を鍛え、生徒主体の協働的学びを展開する	全教科、年間目標を定めて、主体的、対話的、協働的な深い学びを授業で展開することに取り組んだ。	4.8		4.8 オンデマンド等、何度も繰り返し学べるような環境を整えられると良い。
		本校の教員は、一人一人を大切に授業を行っている	授業の理解度を高め、小テストや確認テストで個々の理解度を深め、スタディサブリの指導、補習や個人指導を行う	教職員研修会で研修した「子ども主体で、学び合い、一人も見捨てない」「個別最適化教育」を目指した取り組みを継続した。	4.8		
5	特別活動教務部生徒部	学校は、生徒の個性を伸ばし、学校生活を豊かにするための工夫をしている	ｽﾀｰｲｰﾌﾞ、豊富な行事、生徒会、部活動、総合学習を通して個性の伸張を図る	さまざまな学校行事を計画・準備し、生徒一人ひとりの個性が発揮される場を整えた。コロナ感染防止対策のために中止または規模を縮小して実施した行事もあった。部活動の基本方針を策定し、実施要項を明確化し共有化した。	4.0	4.7 コロナ禍で仕方なかったが、ｽﾀｰｲｰﾌﾞ、修養会等の宿泊行事の実施可否がもう少し早く連絡されるとよかった。総合型選抜(A0、指定校推薦)に特化したサポート等も良い。	
		学校行事には多くの生徒が関わり、多様な体験をさせる工夫をしている	課外活動、修養会、施設訪問、文化祭等の行事への生徒の積極的な参加を促す	生徒はそれぞれの行事に積極的に参加し、充実した学校生活を通して個々の成長を図った。生徒会によるマスク寄付や医療従事者への横断幕の作成と寄付などのボランティア活動も自主的に取り組んだ。	4.5		5.0
		生徒会活動が活発に行われ、生徒が熱心に取り組んでいる	体育祭や文化祭で、生徒会が中心に自主的な活動を行うように指導する。各種共同募金や訪問活動、ボランティア活動に取り組む。	生徒による英和スタンダード、教師による英和スタンダードを策定し、基本的な生活習慣とマナーの定着に努めた。体育祭の競技や文化祭の装飾の企画立案、オンライン中継等を行った。	4.5		5.0
6	生活指導生徒部教育相談学年会	学校は、生活指導の方針を生徒や保護者・地域に分かりやすく説明している(保護者会など)	年2回の保護者会では生徒部通信により、生活指導について理解してもらうようにする。学校生活についてのアンケート結果を配布し、HPに掲載する	生徒部通信や保健便り、学年便りを発行し、絆ネットやHPを通じて、健康管理、安全予防対策、生活指導の方針を生徒・保護者に伝えた。	4.5	5.0 以前より学校や生徒の雰囲気が悪くなったように思う。先生方が授業やコロナ対策で疲れていると思うので、教職員の心のケアやサポート大切にしてほしい。	
		学校は、生徒が基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行っている	健康観察カードの記入と提出、手指消毒の徹底を習慣化を図る。あいさつを中心にしたマナー指導は全教職員が強く意識してこれに当たる	英和スタンダードの実践項目の挨拶や整理整頓、提出期限の遵守等の指導を生徒会、全教職員で粘り強く行うことができた。	5.0		5.0 生徒の制服の着こなしが上手でしっかりしている。
		学校は、生徒が犯罪に巻き込まれないような指導をしている(セーフティー教室、薬物乱用防止教室など)	防犯講座・薬学講座・情報モラル講座などを通して必要と思われる指導を定期的に行う	ネットの危険性について学んだ。年数回積み上げ式の情報モラル講座を行い防犯意識の向上を図った。今後も継続的に指導する。	4.3		4.5 依存症やSNSによるいじめや犯罪に巻き込まれないように指導してほしい。
		学校は、生活指導において家庭、地域や関係諸機関と緊密な連絡を保っている	課題の見られる生徒は保護者は勿論、必要に応じ専門機関との連携をとる	教育相談とスクールカウンセラーを中心に情報をまとめ、守秘義務に配慮しつつ情報を共有化している。必要に応じて外部機関と連絡を取り合い、適切な指導を行うことができた。	5.0		5.0
		学校は、生徒の抱える様々な課題や悩みについて対応している	生活ノートや個人面接、学校生活についてのアンケート等によって知られる課題や悩みに速やかに対応する	学年教師と養護教諭・カウンセラーが連絡を密にし、学年主任会、企画運営委員、職員会議で情報を共有し、必要に応じてケース会議等を通し適切な指導を行うことができた。	5.0		4.8 スクールソーシャルワーカー等を含めて、授業料や大学進学等の情報も交えサポートしてあげてほしい。女子は摂食障害がよいことが多いのでケアを十分にあげてほしい。
7	進路指導進路部学年会	学校は、進路指導の方針を生徒や保護者に分かりやすく説明している(保護者会・進路説明会など)	中学よりカリキュラムやコース別の特性など学校の進路指導について説明していく	進路・キャリアガイダンス、外部講師による講演を積極的に実施している。総合的な探求の時間においてもキャリア教育を扱っている。	4.3	4.7 生徒たちの希望に合わせて将来を見据えたきめ細かい指導を継続してほしい。	
		学校は、進路情報を必要に応じて提供している(進路説明会など)	保護者会の折に進路情報を提供し、学年に応じた説明をしていく	中学から高校まで段階的に必要な学びの機会を組み入れて実施している。	4.5		5.0
		学校は、相談機能の充実など生徒一人一人を大切に指導を行っている	担任や進路部長の他にも進路指導室の管理を事務室が担当し柔軟に対応する	必要に応じて、担任が同席してデータに基づく進路指導を行うことができる体制を整えている。進路部、学年会を中心に個別指導を充実させている。	4.8		5.0
		学校は、望ましい勤労観や職業観を身に付ける指導を行っている(職業調べ、職場体験など)	中3で将来を見据えた職業観を養い、高校では面談の折に個々に応じた職業調べを指導	中学3ガイダンス・高1ガイダンス・高2の総合的探求の時間で将来を見据えた指導を行った。	4.0		4.7
8	危機・安全危機管理	校内は安全に管理されている	常時防犯カメラを作動、警備会社や警備員によって施設等を日々チェックして徹底する	安全衛生委員会を年2回実施し安全に快適に過ごせるように改善をしている。施設の管理を徹底した。感染対策委員会を立ち上げ定期的に会議の場を設け、生徒の体調管理から行事の安全運営に至るまで、熱慮を重ね学校生活が安心安全に送られるように対策を講じた。	5.0	5.0 コロナ感染対策が細かくなされていて良い。	
		学校は、防災・安全対策を保護者や地域の方に十分に説明している	HPや情報配信サービスを利用して素早く適切な情報提供を行う	全生徒の保護者は絆ネット、マチコミに登録し緊急を要する事案に迅速に対応した。緊急事業や連絡はHPに掲載も行った。感染防止対策としてイベントの中止、規模縮小、人数制限等を行った。	5.0		5.0 登下校を含めて不審者情報など県や市の情報をシェアしながら対応を継続してほしい。
9	施設・設備事務部	学校は、施設・設備を整備し、不具合をすぐに修理している	校内の安全衛生面のチェックと改修に努め、空調・照明等に不具合があればすぐに対処する	生徒の動線に合わせて全員の教員で校内パトロールを実施し、不具合箇所の発見と迅速な修理を行った。雨漏り、エアコン修理、カーテン交換、床修理、複合機の交換、飛沫防止アクリル板、換気設備、空気清浄機の導入等に対応した。	4.5	4.7	
		学校職員の生徒や保護者・来校者への対応は適切である	常に適切な服装と言葉遣いで対応のできる教職員集団であるように呼びかける	電話や来客対応はことあるごとに職員に伝え、外部より良好な評価を得ている。感染防止対策として来客の接遇場所の制限を行った。	5.0		4.8